

産業衛生技術部会 2024 年度第一回企画運営委員会 議事資料 (案)

日時：2024 年 11 月 7 日 10:00～12:00

場所：オンライン (ZOOM)

議題 (案)

1. 2025 年度部会主催行事 企画案について

(1) 第 98 回学会 (仙台) における企画 (報告) ※時間帯は予定

- 5/15 (木) 9:00～11:00 教育講演「化学物質の皮膚障害防止用保護具の～」
- 5/15 (木) 16:00～18:00 インターナショナルセッション
- 5/16 (金) 12:30～13:30 拡大幹事会 (ランチオン)
- 5/16 (金) 15:30～16:30 総会
- 5/16 (金) 16:30～18:30 シンポジウム「労働衛生保護具を科学する～」
- 5/17 (土) 14:15～16:15 シンポジウム「職場のたばこ対策」
- 5/17 (土) 16:30～18:30 シンポジウム「化学物質のリスクアセスメントの～」

(2) 第 35 回全国協議会 (徳島) における企画 (提案)

- 「産業衛生技術者も知っておきたい人を対象とした研究の倫理審査 (仮)」
 - 「ハイジニストをはじめとする化学物質管理専門家による事例紹介 (仮)」
- ※第 35 回全国協議会では、企画公募は行わない見込み (部会企画は通常通り実施)

2. 2025 年度計画・予算案について

3. 期末予算残高の適正化に向けた対策について

4. 2025～2026 年度 部会体制について

5. その他

令和6年7月11日
筑波大学 中村修
労働安全衛生総合研究所 齊藤宏之

第98回日本産業衛生学会企画案（職場のたばこ対策）について

1. 趣旨

2020年に健康増進法が改正され、受動喫煙対策が罰則付きで義務付けられた。しかし、半年後のパンデミックの拡大により話題に上らなくなった。パンデミック終息により職場に人が戻り受動喫煙対策に頭を悩ませる関係者が増えていると推測している。職場のたばこ対策のおさらいと最新の情報について提供したいと考えている。

2. 形式

日時：令和7年5月14~17日のうちの2時間：現在未定

場所：宮城県仙台市（仙台国際センター他）：現在未定

時間：2時間

座長：齊藤宏之（労働安全衛生総合研究所）、中村 修（筑波大）

演者：4名

形式：一人20分程度話題提供を行った後、フロアとの質疑応答、事前の台本は用意しない。

謝金：非学会員 2万円（旅費別）、学会員 5千円（旅費なし）

備考：非会員の演者はそのまま参加費なしで学会に参加可能。

但し、宿泊費は講演に必要な最低限のみ支給。

3. 演者候補者（敬称略：全員内諾済、すべて仮題）

職場のたばこ対策（総論） 田淵貴大（東北大学）

トピックス：三次喫煙について 戸次加奈江（国立保健医療科学院：入院中）

敷地内禁煙崩壊を食い止めた話 布施泰子（茨城大学）

喫煙者に対する保健指導 富山紀代美（デパート健康保険組合）

以上

第 98 回日本産業衛生学会（2025/5/14～17，仙台）の企画案

日本産業衛生学会 産業衛生技術部会

テーマ 2：化学物質 RA 結果の読み解き方－産業医、産業保健看護職、他技術職はどこに着目すべきか－
（仮題）

提案者：中村修（筑波大学）、川上貴教（北海道大学）

趣旨：

令和 6 年度から全面実施された、いわゆる「化学物質の自律的管理」では、化学物質の RA とその対応が基軸となるが、その結果の取扱いや RA 内容の妥当性など、事業者側の技量に委ねられる部分が多く、また、様々な産業保健職の協働も必要不可欠である。この企画では、それぞれの立場からみた RA の問題点等を共有することで、いまいちど事業場内での化学物質 RA の全体の流れを確認する場としたい。

座長：川上貴教 北海道大学 安全衛生本部 教授 anzen-sc@general.hokudai.ac.jp

色川俊也 東北大学 環境・安全推進センター 教授 toshiya.irokawa.a2@tohoku.ac.jp

	テーマ（仮）	演者
1	RA 結果の妥当性を見分け方と適切な RA を実施させるための留意点	阿部産業安全衛生事務所 阿部 裕一
2	現場と産業医の間に入る産業保健職の RA 結果の取扱い	株式会社コーセー 高木智子
3	RA 健診の必要性和項目の見極め方	労働安全衛生総合研究所 山本健也
4	歯科領域からみた RA 健診	木下労働衛生コンサルタント事務所 木下隆二

※登壇順は調整中

各演題 20 分×4 + ディスカッション（合計 105 分）

日時：令和 7 年 5 月 17 日（土）16:45～18:30 ※調整中

インターナショナル・セッション（技術部会枠）企画案

時間：2 時間

会場：インターナショナル・セッションと同じ会場

招聘費用：招聘経費は技術部会担当と開催本部・企画運営委員会で相談しつつ開催本部より支出予定（概算 20 万弱）

座長：中原、栄徳（高知大）

通訳：持田、安光（高知大）

演者 1：Samantha Connell（オンデマンド）、International Occupational Hygiene Association(IOHA)会長

- ・ IOHA 紹介
- ・ 世界の産業保健の課題とトレンド 例：ジクロロメタンの禁止、シリカのエンジニアリングストーン廃止など。
- ・ 世界における産業医の役割と分担（本件にも触れてもらうように、公式依頼予定）

演者 2：DooYong Park（現地参加）、Professor of Hansung University, KOSHA President, 前 ANOH 会長

- ・ ANOH 紹介
- ・ アジアでの産業保健の課題とトレンド
- ・ 韓国の産業衛生の規制動向と話題紹介 例：企業トップに対する罰則規制強化、半導体業界の健康問題など
- ・ 韓国の産業医の役割と分担（本件にも触れてもらうように、公式依頼予定）

演者 3：橋本晴男（現地参加）、橋本安全衛生コンサルタントオフィス社長

- ・ 世界に目を向けた労働衛生の重要性
- ・ 日本の自律的管理と世界の産業保健

演者 4：梶木繁之（現地参加）、産業保健コンサルティングアルク代表 産業医科大学産業衛生教授.

- ・ リスクアセスメントの結果を、どのように健康診断と連動（リスクアセスメント健診）
- ・ インダストリアルハイジニストと産業医との連携（多職種連携）

指定発言：飯田裕貴子（現地参加）、株式会社環境管理センター技術部長

- ・ 国際学会参加した実体験から、その参加意義を考える ANOH, ICOH, その他

総合討論（テーマ候補案）

国際協力の在り方と国際学会の役割

多職種連携

近々の国際学会紹介

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算	2023年度決算	2024年度(決算予想)	2024年度予算
事業費(合計)	121,521	185,163	849,438	1,120,090	441,314	1,035,000
会場費		4,682		119,350		120,000
旅費交通費		5,972	32,114	172,811	52,846	150,000
通信運搬費		20,289	19,291	12,284		
印刷製本費	8,891		3,501	287,496		
消耗什器備品費			358,535	8,186		
広報渉外費	11,000			10,046		
諸謝金	10,000	105,000	149,710	240,000	175,500	160,000
地方会助成金	90,640	45,660	134,860	56,500	19,640	150,000
委託費						300,000
国際交流費			146,667	156,823	156,823	150,000
雑費	990	3,560	4,760	56,594	36,505	5,000
管理費(合計)	1,040	880	124,262	78,128	74,800	662,000
理事幹事会費			101,286	54,698	57,750	100,000
旅費交通費			712	720		100,000
通信運搬費	1,040					30,000
印刷製本費						280,000
消耗什器備品費						150,000
消耗品費						2,000
雑費		880	22,264	22,710	17,050	
使用金額合計	122,561	186,043	973,700	1,198,218	516,114	
期末残高	2,403,878	2,817,859	2,538,973	1,989,200	2,052,770	

11月末の、教育研修担当の打合せのための移動、宿泊費を加えて、使用額合計が約60万になるかと思いをします。